

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク
公演団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク

内容
<p>『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』の出演者やスタッフと演劇の表現方法を用いたワークショップを行います。子どもたちの想像力とコミュニケーション力を養うとともに、作品のイメージを共有することで、より豊かな本公演の鑑賞につなげていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最初に講師の自己紹介と本公演の作品紹介を行います。</li><li>・ストレッチで身体をほぐし、出演者が普段から演技のトレーニングとして行っているシアターゲームをします。</li><li>・身体と気持ちが温まったところで、10名程度のチームに分けて、出演者やスタッフと一緒にお芝居作りをします。お芝居が完成したら他のチームと見せ合い、感想を伝え合います。</li></ul> <p>※1回につき45～50分を予定。基本は学級毎に行います。</p>

タイムスケジュール（標準）
8:30～9:30 準備、打ち合わせ 9:30～11:30 ワorkshop(途中休憩あり) 片づけ後、会場下見、撤収
※学校、会場の都合により一部変更する場合があります。

派遣者数
6名

学校における事前指導
特にありません。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク
公演団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク

演目
フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』  原作 宮沢賢治 上演台本 佃典彦 演出 西沢栄治 美術 長田佳代子 音楽 園田容子 照明 横原由祐 音響 島猛 衣裳 仲村祐妃子 演出・振付・ステージング:神在ひろみ 舞台監督 荒牧大道

派遣者数
合計 19 名 (出演者 6 名、スタッフ 13 名)

タイムスケジュール (標準)
8:00～12:30 設営 12:30～13:30 リハーサル、練習 13:30～14:35 本公演 15:00～17:30 撤収

実施校への協力依頼人員
・舞台上に大きな荷物がある場合は片付けて下さい。また、終了後は原状復帰にご協力ください。 ・下見の際に、体育館の設備について詳しい方とお話させて下さい。体育館や隣接の校舎の配電盤を開けさせていただきます。搬入トラックの動線を確認させてください。

## 演目解説

### 【あらすじ】

舞台はフランドン王国にある農学校。飼われているブタはなんでも食べる食いしんぼう。生徒たちから、「糞や水から、肉や脂肪をつくる」不思議な力を持っている生きもの、なんていわれて自慢げだ。しかしある日、王様から「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という法律が発令されて…？

### 【みどころ】

宮澤賢治の2つの童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』を原作にした、ユーモラスでシリアスな「いのち」と「食」をつなぐ大人も子どもも楽しめる舞台です。ミュージカル仕立ての分かりやすいストーリーで“命の大切さ”“食べることの意味”を伝えます。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

### ・ブタ役として出演しよう(1名)

登場人物は劇の中で「ブタ鼻をつけた人がブタになる」というルールがわかっていきます。皆でブタ鼻を誰かに付けようと鬼ごっこをするうちに、客席においていき、観ている子どもにブタ鼻をつけてしまいます。ブタ鼻をつけられた子どもはブタ役になって、お芝居してもらいます。(ブタ役は事前に決めます。当日にお芝居の簡単な打合せをします。)

### ・出演者と校内放送で共演しよう(2名まで)

開場前の休み時間などに、放送室から出演者と一緒に校内放送をしてもらいます。演劇を楽しく見る方法や、これから見る劇の紹介を子どもたちにしてもらうことで、作品に親しみを持ってもらいます。(本公演当日に打合せを行います)

### ・前説に挑戦しよう(2名まで)

開演前にマイクで会場を盛り上げる前説をもらいます。(本公演当日に打合せを行います)

### ・舞台スタッフになろう(人数要ご相談)

演劇に興味がある子どもたち数名に舞台バラシを手伝ってもらいます。出演者やスタッフとコミュニケーションを取りながら作業を行うので、お芝居の感想や質問を伺うなどの交流が可能です。

※事前に劇中歌の音源を送り、給食の時間などに流してもらいます。

## 児童生徒とのふれあい

- ・ワークショップの際に出演者たちと記念写真を撮ります。
- ・本公演終演後に、感想や質疑応答の時間を取ります。
- ・子ども達が退場の際には出演者たちが見送りをを行います。
- ・ご希望に応じてバックステージツアーを行います。
- ・本公演後に送ってもらう感想文のなかには質問も書かれているので、返事を書いて送ります。